



7月17日（水）に今年度第2回目の学校運営協議会を実施しました。

翌18日は「弘高ねぶた」の運行日で、協議会を実施した17日は、生徒は終日ねぶた制作に取り組む日でした。委員の皆様には、その生徒の制作の様子を、自治会生徒の案内のもと、見学していただきました。その後、今年度の県の事業である「高校生海外フィールドワーク2024」に本校チーム「Hygge^{ヒュッゲ}」が採択されたことを報告し、実際に協議会でのプレゼンを生徒に再現してもらいました。発表をご覧になった委員の方々から、有意義な御意見を頂戴しました。



★以下は後半の協議の簡単な内容です。

弘高ねぶた…警備の人員的な課題やねぶた制作の費用面についての課題点を学校側から提示し、問題を共有し、協議しました。

国際交流・異文化体験プログラム開発…プロジェクトチームを6月に発足させ、本校独自の国際交流事業が設定されていない中で、今年度はできる範囲で事業を実施し、来年度以降、海外での交流事業を拡大できるように計画していくという説明が、担当からありました。

部活動事故防止チェックポイント…部活動実施上における危機意識を生徒、顧問共に持つことを目的として作成し、今後、各部活動において、実際の活動とチェックポイントの関係を検証していく必要性について学校側から説明がありました。

弘前高校を取り巻く状況と学校の方針…世界の高校生の価値観を踏まえ、今後到来する社会像に対応するための地方の進学校としての特性、在り方について協議しました。



～委員からの主な御意見～

ねぶたの警備については、地域の団体を大いに活用すべきではないか。

部活動チェックポイントについて、リスクマネジメントと、クライシスマネジメントの記載が混在しているので、整理してはどうか。

今後の高校教育においては、学校行事や総合探究と、教科を別物に捉えるのではなく、一体となるような教育をしていくべきだと考える。

次回の学校運営協議会は、11月から12月上旬頃に実施の予定で、「探究」の持続的な体制づくりや部活動改革、学校おける働き方改革の方向性や在り方について熟議をする予定です。